

## 著者紹介

**小山 泰史** (こやま やすし) 序, 第2章4・5, 第7章, 第8章 執筆

略歴

神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得退学(法学博士)。  
現在, 上智大学法学研究科法曹養成専攻(法科大学院)教授。

主要業績

『流動財産担保論』(成文堂, 2009年)  
「イングランド法におけるUCC第9編型立法脚用の動向」「ニュージーランドPPSA1999年法について」『動産債権担保—比較法のマトリクス』(商事法務, 2015年, 共著)  
「動産譲渡担保」『新注釈民法(7) —物権(4) 373条~398条の22』(有斐閣, 2019年, 共著)

**堀田 親臣** (ほった ちかおみ) 第1章, 第3章, 第4章 執筆

略歴

1972年生まれ。広島大学大学院社会科学研究所法律学専攻博士前期課程修了, 同研究科法律学専攻博士後期課程修了。現在, 広島大学大学院人間社会科学研究科教授。

主要業績

「土壌汚染と物権的請求権(一)(二・完) —近時のドイツ裁判例の動向を中心に—」  
広島法学37巻1号, 39巻3号(2013年, 2016年)  
『2STEP 民法1総則』(信山社, 2015年, 共著)  
「物権的請求権について—改正民法605条の4を契機として」『大改正時代の民法学』(成文堂, 2017年)  
「土地所有権の現代的意義—所有権放棄という視点からの一考察」広島法学41巻3号(2018年)

**工藤 祐巖** (くどう ゆうげん) 第2章1-3 執筆

略歴

1961年生まれ。一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。同研究科博士課程単位取得退学。現在, 明治大学専門職大学院法務研究科教授。

主要業績

『要論民法総則〔改訂版〕』(青林書院, 2001年, 共著)  
『法学講義民法4 債権総論』(悠々社, 2006年, 共著)  
『マルシェ債権総論〔第2版〕』(嵯峨野書院, 2010年, 共著)  
『プロセス講義 民法IV 債権1』(信山社, 2016年, 共著)

## 澤野 和博 (さわの かずひろ) 第5章 執筆

### 略歴

1966年生まれ。早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了，同研究科博士課程単位取得退学。現在，立正大学法学部教授。

### 主要業績

『法学講義民法6 事務管理・不当利得・不法行為』（悠々社，2006年，共著）

『マルシェ債権各論』（嵯峨野書院，2007年，共著）

『論点体系 判例民法8 不法行為Ⅱ〔第2版〕』（第一法規，2013年，共著）

『民事法講座第7巻 小児医療と医事法』（信山社，2016年，共著）

## 藤井 徳展 (ふじい なるのぶ) 第6章 執筆

### 略歴

1975年生まれ。京都大学大学院法学研究科民刑事法専攻修士課程修了，同研究科民刑事法専攻博士後期課程単位取得退学。現在，大阪公立大学大学院法学研究科准教授。

### 主要業績

「動産と債権の包括的な担保化による資金調達と，その法的課題」『グローバル化と社会国家原則』（信山社，2015年，共著）

「ドイツ法における債権の譲渡担保の効力と，その法的諸問題」『動産債権担保—比較法のマトリクス』（商事法務，2015年，共著）

「更改，免除，混同」『新基本法コンメンタール債権1 民法第399条～第520条の20』（日本評論社，2021年，共著）

『リーガルクエスト民法Ⅲ 債権総論』（有斐閣，2022年，共著）

## 野田 和裕 (のだ かずひろ) 第9章 執筆

### 略歴

1968年生まれ。神戸大学大学院法学研究科博士課程前期課程修了，同研究科後期課程単位取得退学。現在，広島大学法科大学院教授。

### 主要業績

「分割履行契約の不履行と一部解除」『ヨーロッパ私法の動向と展開』（日本評論社，2008年，共著）

『概説国際物品売買条約』（法律文化社，2010年，共著）

「不当条項の内容規制と契約全体の考慮」『法律行為法・契約法の課題と展望』（成文堂，2022年，共著）

『18歳からはじめる民法〔第5版〕』（法律文化社，2023年，共著）